

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課 すわっチャオ

会議名

令和8年度 諏訪市人権同和教育推進委員会

開催日時

令和8年8月7日(金)午前10時～午前11時30分

出席者

(敬称略)

(出席者)

委員: 鴨志田明子(委員長)、桜井幸雄(副委員長)、長谷亮祐、馬場直樹、笠原晴樹、高橋瑞枝、血脇洋恵、松木敏博、矢島久資

教育委員会: 三輪教育長、今井教育委員、小林教育次長、小泉生涯学習課長、友野公民館長、今井社会教育指導員、西山すわっチャオ係長、小山すわっチャオ主任

(欠席者)

委員: 岩波清恵、畑めぐみ

(傍聴者) なし

資料

令和8年度 諏訪市人権同和教育推進委員会 次第 等

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会 / 2. 教育長あいさつ / 3. 自己紹介 / 4. 協議事項 <報告> (1) 人権に係る市の取組について(令和7年度事業報告・令和8年度事業計画) <意見交換> (2) 市の人権に関する取組への参加や理解の促進につなげるための工夫や方法 (3) 市で行っているもの以外で人権意識の向上につながる取組を考える (4) 「人権平和学習のたより」の内容について / 5. その他 / 6. 閉会

【協議内容】

(1) について

○質問・意見等なし

(2) について(挙げられた工夫や方法)

<多くの考えに触れる機会の提供>

○地域の人と日常的に少しずつ交流の場を設ける ○地域で挨拶運動 ○講演会等の後、ディスカッションを入れる

<人権は身近なことと思える環境づくり>

○講座では「人権講座」というネーミングを強調せず、時代に合ったサブタイトルをつける

○00歳のうちからあなたは一人の大切な存在だということを知ってもら(小さなことでも声掛け、選ぶ自由)

○キョロプラ隊(地域の子ども見守りボランティア)を巻き込んだ啓発 ○催し物の中で「人権」を考える

<周知方法>

○様々な人が利用する場所に啓発チラシ等を設置(元気館の掲示スペースなど)

○ショート動画などで人権啓発

(3) について(挙げられた取組やアイデア)

○街歩きで人権を学べるイベントを計画 ○キーホルダーやシール等身近なものから人権グッズを作る

○フリースクールの見学会 ○行政の縦割りをなくし、横のつながりによりセミナーを行う

○カスハラを啓発する取組を行う ○自身の経験等を話せる場を提供する取組

(4) について(おたより素案に対するご意見)

○特設人権相談の記事に、具体的な相談例を記す

その他

○多種多様な人権課題の中で、市が取り組めていないものはないか洗い出しをしてみてもどうか ○「人権同和教育推進委員会」の「同和」について、今後も委員会の名称に入れておくことが必要か

